

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5 年 3月 8日

事業所名 Kid's Club

保護者等数(児童数) 12名 回収数 割合 100 %

※各欄に合計数を記入してください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12					
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	1				
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	12					
	5 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10	1		1		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		9	2	1		一般の公園や広場での活動を取り入れて障害のない子供と遊ぶ機会がありますが交流を目的とした活動については今後検討します。
保護者等 への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	4				
	8 日頃から子どもの状況を保護者等と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができてきているか	11	1				
	9 保護者等に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	1		2		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者等同士の連携が支援されているか	6	4	1	1		今後は保護者会を定期的に開催し交流を深めたいと思います。
	11 子どもや保護者等からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者等に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	2		1		
	12 子どもや保護者等との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	2		1		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者等に対して発信しているか	6	5		1		今後はホームページの活用を積極的に行いたいと思います。
	14 個人情報に十分注意しているか	10	1		1		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者等に周知・説明されているか	10	1		1		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	7		1		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	12					子どもたちの「楽しい」「嬉しい」体験を最も大切と考えます。
	18 事業所の支援に満足しているか	12					今後も支援の向上に努めていきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 3月 8日

事業所名 Kid's Club

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		
	2	職員の配置数は適切である	5		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		虐待研修等は全職員行えましたが支援技術に対する研修を計画できるようにしていきたいと思います。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		子供達が主役になり、子供達の発想を生かした活動を展開できるようにしていきたいと思います。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5	行えていないので今後検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		5	実施予定があった時は参加できるようにします。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		感染防止の観点から個別説明を行っていましたが保護者会を開催してお伝え出来るようにします。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		
	35	個人情報に十分注意している	5		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	3 現在対象のお子さんはいませんが必要に応じて十分な検討をしたいと思います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5 年 3月 8日

事業所名 Little Kid's Club

保護者等数(児童数) 19名 回収数 18名 回収率 94.7%

※各欄に合計数を記入してください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	17	1					
	2 職員の配置数や専門性は適切である	17	1			・困った事があるとすぐに相談に乗ってくれるので助かります。 ・少人数での支援で本人も力がついたと思います。	子供達とご家族の幸せにつながるご支援が出来るよう職員一同、支援技術を高めて行きたいと思っております。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	15	1		2			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	17	1			・階段など綺麗になっていて 良いです		
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	16	2					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	17			1			
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	17				・定期的に見直す機会もあり、要望にも応えてもらい有難いです。		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	15	1		2			
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	11	1	1	5			
適切な 支援	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	16			2			
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	16				2		
	12 保護者等に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	13	2	1	2			
	13 日頃から子どもの状況を保護者等と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか	18					・連絡ノートに細かいことまで伝えてくれるので、児童での状況が分かりやすいです、日々の成長を感じます。 ・子どもがパニックを起こした時、アドバイスをしてもらったりサポートをもらっています。	
	14 定期的に、保護者等に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	17				1	・親だけでなく祖父母との話し合いも作っていただき、家族で大変お世話になっていきます。 ・母親のメンタルを支えてもっています。	ご家族皆さまとの関わりを基に子供達の成長発達に繋がるご支援が出来る様にして行きたいと思っております。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
サービスの提供	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者等同士の連携が支援されている	14	1	2	1	・主人にも保護者の会(お父さんの)に参加してほしいと思っていたので、コロナで仕方がないのですが、三年間で実施されなかったのが残念でした。お母さん同士の保護者会は開催して頂き有難かったです。	保護者の方のご期待に沿えず申し訳ありません。23年度は保護者会を開催できるように致します。
	16 子どもや保護者等からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者等に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	16	1		1		
	17 子どもや保護者等との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	17	1				
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者等に対して発信されている	14	3		1		
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	17	1				
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者等に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	11	2		5		
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	5	1		12		
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしている	14	4		1	・最近では園より児発の通所を楽しんでいます。のびのびと通所できています。 ・Littleで本人らしくいられていると思います。	
	23 事業所の支援に満足している	17	1			・大満足です。 もうすぐ卒所が残念です。 ・今後も宜しくお願いします。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 3月 8日

事業所名 Little Kid's Club

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		
	2	職員の配置数は適切である	6		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		毎日活動場所の清掃、消毒に加え、おもちゃ等の消毒も欠かさず行って清潔を維持している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		コロナの影響により研修への参加が減っているのでもっとを含め参加できるようにして行く。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		戸外での活動を増やし子供達により良い体験が出来る様にして行く。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	3	新型コロナ等感染症の今後の状況によって参加したい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6		行えていないご家庭もあるので検討していきたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		感染対策の為、個別説明になっていたのが保護者会を開催し説明できるようにする。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2	今年度、法人後援会が主催となって開催できたがコロナの影響でLittle主催としてできていないので2023年度は開催する。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		ヒヤリハット報告を共有で掲示しているが、打ち合わせの中でも共有する。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6		現在は対象児童が在籍していない状況だが、必要がある場合には職員、保護者、関係機関と連携をとりながら十分に検討した上で計画に加える。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。